

## 武蔵野市障害者福祉センター改築事業 基本設計について

### 1 これまでの検討経過

昭和55（1980）年に開設後、築40年以上が経過している障害者福祉センターについて、令和3（2021）年2月の公共施設等総合管理計画庁内推進本部会議にて、劣化状況調査の結果、建物全体で経年相当の劣化が進行しているため、大規模改修を実施するか、建替えを実施するか、今後の方針を早急に検討する必要がある、との報告がなされた。この報告を受け、「武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会」（以下「あり方検討委員会」という。）を設置し、建物・設備の老朽化に伴う大規模改修や業務のあり方、機能の見直しについて検討を行った。

令和3（2021）年度に設置されたあり方検討委員会において、障害福祉サービスの社会的背景、障害者福祉センターで行われている事業や利用状況、利用者やサービス提供事業者からの意見等のソフト面と、敷地の条件・現施設の建築としての課題などのハード面の双方から検討した結果、障害者福祉センターの老朽化への対応として、大規模改修ではなく、建替えが望ましいとの報告を受け、市として、安全に事業を継続するため、建替えを行うこととした。

令和4（2022）年度には、施設整備の内容を整理し、基本理念や基本方針、建替えに関する諸条件の整理を行い、基本計画を定め公表した。

令和5（2023）年度には、基本計画に基づき、コンセプトや事業計画を実現するための検討を実施し、基本設計を進めてきた。

| 年度          | 改築事業に係る検討経過                                                                                                                                                                                           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和2（2020）年度 | 公共施設等総合管理計画庁内推進本部会議にて「劣化状況調査の結果、建物全体で物理的劣化が進行しており、今後の方針を早急に検討する必要性あり」との報告                                                                                                                             |
| 令和3（2021）年度 | 「武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会」における検討<br>・武蔵野市障害者福祉センター運営協議会委員、武蔵野市地域自立支援協議会委員、武蔵野市医師会代表者、学識経験者等による検討<br>・9月 「武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会報告書 中間のまとめについて」行政報告<br>・11月 利用登録団体アンケート・パブリックコメント等を経て、「建替えが望ましい」との報告書を市に提出 |
| 令和4（2022）年度 | 「武蔵野市障害者福祉センター改築に伴う基本計画」の策定<br>・あり方検討委員会による報告を受け、利用登録団体ヒアリング及びパブリックコメントを経て、整備方針・備えるべき機能、基本設計・実施設計における設計と条件を整理<br>・12月 「武蔵野市障害者福祉センター改築に伴う基本計画（案）」について行政報告<br>・3月 「武蔵野市障害者福祉センター改築に伴う基本計画」公表           |
| 令和5（2023）年度 | 基本設計の実施                                                                                                                                                                                               |

（裏面あり）

2 基本設計について

別紙「武蔵野市障害者福祉センター改築事業 基本設計報告書（概要版）」のとおり

3 概算工事費について

(1)基本設計における概算工事費（基本設計内容に基づく積み上げによる積算）

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 施設工事費   | 約19億円（建築（解体を含む。）、電気及び機械の3工事概算） |
| 工事監理委託等 | 約1億円                           |
| 合計概算工事費 | 約20億円                          |

※ただし、工事費は現段階における概算額であり、今後の実施設計の内容や入札時の建設コスト等により変動する可能性がある。詳細な工事費については、令和7（2025）年度予算時に改めて示すものとする。

(2)基本計画時 概算工事費（基本計画時点の条件による類似施設の平均㎡単価からの積算）

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 施設工事費   | 約13億2,000万円（建築（解体を含む。）、電気及び機械の3工事概算） |
| 工事監理委託等 | 約8,000万円                             |
| 合計概算工事費 | 約14億円                                |

(3)基本計画時より概算工事費が増となった要因

- ①障害福祉サービス指定基準等を満たすための延床面積の増（約250㎡増）
- ②環境配慮指針への対応
- ③資材・労務単価上昇への対応
- ④基本計画時の積算では見込めない増要因（スロープ避難経路など）

4 事業スケジュール

